ISUZU

ISUZU LOGISTICS Co., Ltd.
Sustainability Activities



2023

ISUZU GROUP

気候変動対策

ISUZU LOGISTICS

物流過程におけるCO_2排出量の低減

いすゞロジスティクスでは、部品の搬送ルート見直しや搬送時の省燃費運転促進、新規航路開拓による海上輸送の増便（モーダルシフト）により、物流過程におけるCO_2排出量を毎年1%低減することを目標に取り組んでいます。

<主な取り組み>

・荷量に合わせたトラック輸送管理の徹底などによる輸送効率アップ

・返却時に折り畳めるリターナブルラックの使用拡大

・トレーラー輸送の拡大とコンテナ内貨物充填率アップ



返却時に折り畳めるリターナブルラック

気候変動対策

ISUZU LOGISTICS

輸送方法の見直し

いすゞロジスティクスは、2020年に栃木工場に隣接したパーツセンターを追加し、周辺の倉庫を一つに集約しました。これにより倉庫間の物流が集約され、搬送効率が向上しました。また、従来のパーツセンター2倉庫間には高架橋を設置し、トラック輸送を無人けん引車に切り換えたことで、CO_2削減につながりました。



倉庫間に設置された高架橋



倉庫間の輸送を無人けん引車で実施

コンテナラウンドユースの拡大

いすゞロジスティクスでは配送後に空になった輸入コンテナを輸出コンテナに転用するコンテナラウンドユース（CRU）に取り組んでいます。CRUが拡大していくと、空のコンテナ輸送が削減できるため、輸送時のCO_2削減が図れるだけでなく、コンテナも確実に確保することができます。これにより安定的な物流が確保されるようになりました。





CRU KD出荷コンテナ内外

ISUZU LOGISTICS

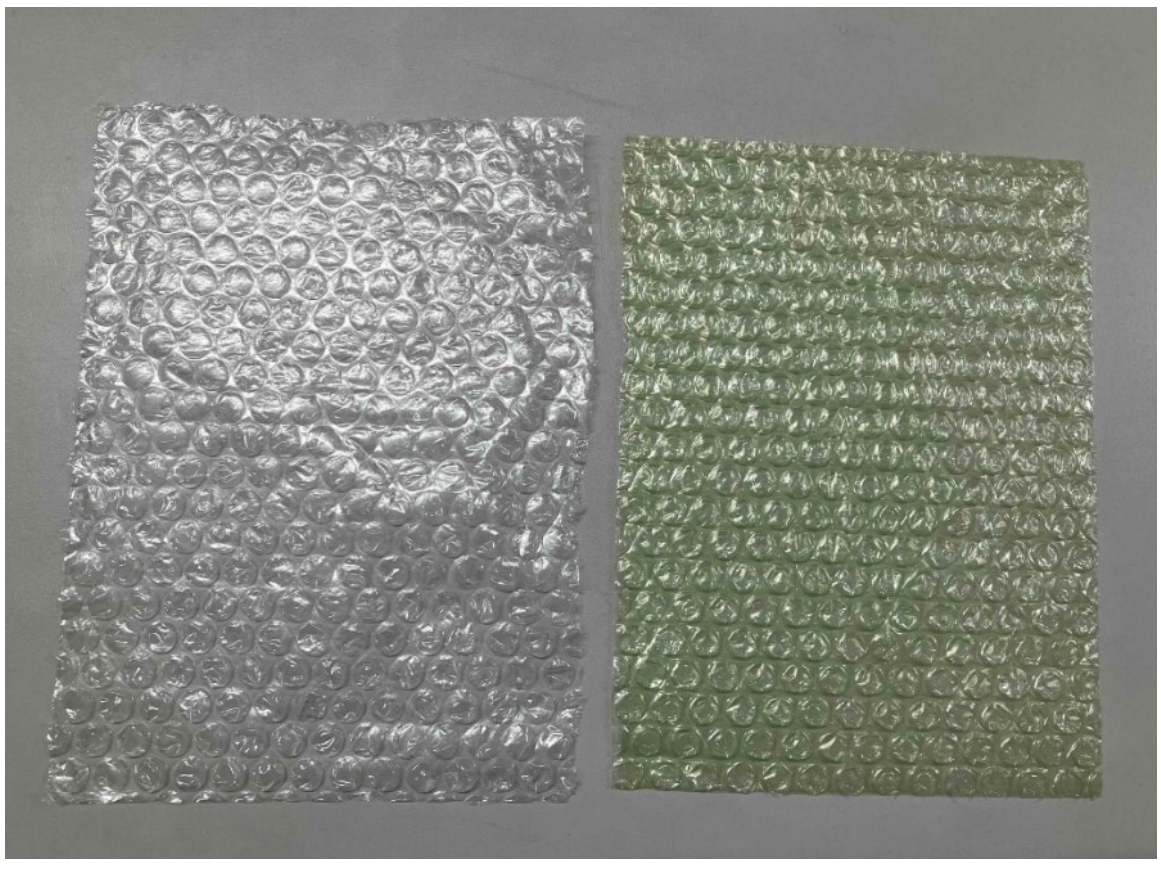
バイオマス資材の導入

いすゞロジスティクスでは海外組立工場向けノックダウン（KD）出荷の包装資材にサトウキビ由来のバイオ原料を配合したバイオマス資材を導入しています。バイオマス資材は主原料となるサトウキビが成長の過程において光合成によりCO_2を吸収するため、廃棄焼却時のCO_2排出量が相殺されます。

2017年度から年間約900万枚と最も多く使用されるA4サイズのポリ袋を石化由来から植物由来へ切換し、 CO_2排出量を約7%削減しました。その後、他のサイズのポリ袋にも展開を進め、2023年度現在、全10サイズのポリ袋をバイオマス資材へ切り換えました。

その他にも2022年度からは、全16サイズの気泡緩衝材についてバイオ原料を約15%配合したバイオマス資材へ切り換え、 CO_2排出量を以前より約5%削減しています。2023年度現在では、バイオマス資材全体で年間約120tCO_2排出量を削減しています。

今後も引き続き、石油由来の包装資材から植物由来の包装資材への切り換えを推進し、包装資材のライフサイクル全体で温室効果ガス(GHG)ゼロを目指します。



バイオマス気泡緩衝材
（左は従来の石油由来プラスチックから作られた気泡緩衝材、右がバイオマス気泡緩衝材）

資源循環推進

ISUZU LOGISTICS

梱包・包装資材の削減：リターナブルラックの導入拡大

いすゞロジスティクスでは環境負荷を低減するため、ノックダウン（KD）生産用の部品の梱包出荷から海外工場まで、物流全体の最適化を図っています。

2017年度からアセアン地域を皮切りに、海外組立工場で廃材となっていた梱包用ラックを繰り返し利用可能な全仕向地共通のリターナブルラックへ切り替え、展開、拡大を進めています。

また、2019年度には単体重量が従来比33%減の軽量型リターナブルラックを開発、さらにコンテナ内の充填率を上げるために、高さ違いの2種類のラックも展開しました。2023年度現在、主要仕向け国への展開が完了しています。

リターナブル化はキャブ用ラックにも展開し、資源循環を図っています。従来のキャブ用ラックは、木製のワンウェイラックを使用していましたが、2021年10月より鉄製のリターナブルラックへ変更。海外工場での釘抜き等の木材解体作業も不要となり、安全性も向上しました。

また、完成キャブをコンテナに積載する際に発生する上部空間を活用するため、キャブ用ラック下に入る部品用リターナブルラックを開発し、段積みによるコンテナ内充填率の向上を図りました。アクスル等の大物部品や他のコンテナを使用して出荷していた部品をこの部品用リターナブルラックに搭載することにより、40ftコンテナを年間約300本分削減し、輸送における温室効果ガス(GHG)の低減を図っています。

今後も持続可能な社会の実現に向け、リターナブル化、資材やコンテナの削減に努め、資源循環を推進しGHGを削減していきます。



キャブ用リターナブルラック（オレンジ）＋ 部品用リターナブルラック（グレー）

地球の「運ぶ」を創造する

ISUZU

ISUZU GROUP